

プログラム名	史跡探訪		活動時間 15分～
概要	<p>○特別史跡の魅力を探訪する。  ○旧閑谷学校の歴史について知る。  ○最大人数 150人程度（内容により要相談）</p>		
ねらい (SDGs)		<p>○国宝の講堂をはじめとする建造物が300年以上にわたり持続してきた理由を考える。  (1670 創建の命、1701 現存のものが創建)  ○池田光政の教育に対する考え方を知る。  ○津田永忠の建築技術について探る。  ○学校運営のための財政基盤の構築について考える。</p>	
準備物	<p>○教育センター・・・史跡リーフレット、バインダー、筆記用具  ワークシート  ※研修方法により準備物は異なる。</p>		
研修方法	<p>ア 史跡内広場で集合した状態で説明を聞く。  イ 主要建物を回りながら説明を聞く。  ウ ワークシートを用いたグループ活動を行う。(班分け4～6人)  エ 探求課題によるフィールドワーク  エ 資料館を散策する。  ※以上の活動から方法を検討する。詳細は裏面。  ○写真撮影</p>		
研修場所	<p>集合場所  ○屋外・・・つどいの広場  ふれあいの広場  史跡内広場（講堂学習後）  ○屋内・・・プレイホール  各研修室</p>	<p>活動場所    史跡内</p>	
引率者へのお願い	<p>○事前学習  ・旧閑谷学校の歴史と創建に関わった人物について  池田光政、津田永忠、孔子  ・国宝、重要文化財の意味と取り扱いの注意について  ・SDGsとの関連について</p> <p>○研修当日  ・整列指導、研修態度指導  ・支援を必要とする研修生の支援  ・団体の研修（史跡探訪）目的達成に必要な指示指導</p>		

研修の  
流れや内容

○史跡探訪で学ぶポイント

- ・池田光政の教育に対する考え方
- ・津田永忠の建築技術
- ・学校運営のための財政基盤の構築
- ・閑谷学校の存続に尽力した人の存在
- ・SDGsと閑谷学校

ア 史跡内広場で説明を聞く活動（15分～）

- ・最大人数 150人程度
- ・集合場所で整列する。
- ・センター職員が説明を行う。

イ 主要建物を回りながら説明を聞く活動（30分～）

- ・最大人数 40人程度
- ・人数が多いと移動が困難、説明が聞こえないことがあるため要相談とします。
- ・集合場所で整列する。
- ・センター職員の引率で活動する。

ウ ワークシートを用いたグループ活動（40分程度）

- ・別紙参照
- ・最大人数 150人程度
- ・集合場所で整列する。
- ・4～6人班で活動する。（事前に編成しておく）
- ・班で史跡内を回りながらワークシートを記入していく。
- ・センター職員が答え合わせと解説をする。

エ 探求課題によるフィールドワーク（原則60分）

- ・別紙参照
- ・最大人数 80人程度

オ 資料館を散策する活動（30分～）

- ・最大人数 60人程度 ※要相談
- ・団体引率者の引率で資料館をまわる。

閑谷学校全景

